

令和5年度 第2回 学校運営協議会議事録

校名	府立泉尾工業高等学校
校長名	永田 夏穂

開催日時	令和5年11月10日(金) 9:30~10:30
開催場所	本校 本館1階 校長室
出席者(委員)	玉城 理恵(会長)・具志堅 さおり(委員)・岩田 英樹(委員)・岩崎 一哉(委員) 湯浅 芳昭(委員)・森岡 美千代(委員)
出席者(学校)	永田 夏穂(校長)・片岡 敏哲(教頭)・三橋 秀樹(主査)
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度学校経営計画及び学校評価 大阪市立の高等学校移管計画における再編整備の対象校の募集停止時期(案) 府立学校スマートスクール推進事業費
備考	なし

議事等次第順

開会のことば

1、学校の現状について

- ・令和5年度学校経営計画の取り組み状況
- ・その他の取り組み状況

2、その他

閉会のことば

協議内容・承認事項等(意見の概要)

1、学校の現状について

- ・再編整備の対象校(泉尾工業、生野工業、東淀工業)のうち、本校の募集停止時期は新工業系高校開校年度の入学者募集時で、新校募集開始時期は令和10年度(予定)
- ・本案とおりであれば、令和9年度募集を最後に募集停止。閉校は令和12年3月となる予定。
- ・なお、3校のうち、小規模化が進んでいる生野工業高校は令和7年度に募集停止。
- ・今年度、在籍生徒278名でスタートし、10月末現在の在籍生徒数277名である。全体的に落ち着いた雰囲気での学習活動が行えている。
- ・進路状況について、3年生在籍94名中、60名が学校からの就職斡旋を希望し、10月末時点で52名が内定している。
- ・求人状況も良好。最近2年は以前に比べ就職希望者の割合が低い状況にある。

- ・令和5年度学校経営計画の取り組み状況

教員の授業改善

生徒による授業アンケートは昨年並み。管理職で随時授業見学を実施している。

1人1台端末の活用推進

端末の教卓型充電保管庫を各 HR 教室に配置。スマートスクール推進事業により、令和6年度から全府立高校に電子黒板・単焦点プロジェクターが配備されることとなり、活用推進を進める。

検定・資格取得の推進

ジュニアマイスターの取得者数 7 名 (R4 は3名)

基本的生活習慣の確立(遅刻指導)

年間 1200 件以下とする目標を共有し、教員全体で粘り強く指導を行っている。

ICTを活用した校務の効率化

運営委員会等、一部会議はペーパーレスで実施している。全校 TOP 連絡掲示板での情報共有が浸透してきている。保護者への連絡や案内について Google クラスルーム・ホームページを活用するなどペーパーレス化を進めている。

・スマートスクール推進事業について

HR教室に電子黒板と単焦点プロジェクターが配備される予定。また、工業系高校におけるオンライン空間やバーチャル空間を活用した非接触型学習の充実を図るため、VR ゴーグル等の導入やオンライン実習室の整備が行われる予定。

本校では VR ゴーグル各科 2 台の計 10 台配備。VR 溶接や VR でのドローン操作など有用な活用を検討中。

・トイレの改修について

12 月末より改修工事開始(洋式化や自動洗浄化を行い、学習環境の改善を図る)

2、その他

特になし

(委員からの意見)

- ・保護者への連絡や案内のペーパーレス化について、Google Classroom など加入率を高めて、確実に連絡が保護者に届くようにすることが大切。
- ・VR の活用について、メタバース空間でのものづくり競技会などが実施できれば工業の特色がでて面白いのではないかと。
- ・VR 溶接については、安全に作業ができることや準備に時間を要しない等のメリットもあるが、VR 溶接と実際のガスやアーク溶接の作業とは感覚的に大きな差があるので、VR に傾倒しすぎず、これまでの実践も大切にしたい。

次回の会議日程

日時	令和6年2月 16 日(金)10:00～
会場	本校 本館 1 階 校長室